

「農研機構食品研究成果展示会 2019」開催要領

1. 趣旨及び目的

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）は、農産物及び食品について、食の安全性・信頼性の確保と健全な食生活の実現のための研究、革新的な流通・加工技術の開発、さらにそれらを支える最先端技術の導入や関連する基礎研究などに取り組んでおります。また、食品研究に関する連携の拠点、国際的なセンターとなることを目指して、より開かれた、活力ある研究機関となるように努めております。昨年度からは、さらに、政府が掲げる農業・食品産業分野での「Society 5.0」の実現及び国連サミットで採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成を目指した研究活動を重点的に行っております。

農研機構の存在と上記の活動を一般社会に広く知っていただくと共に、大学・地方公共団体等の試験研究機関や食品企業など食品関連産業に携わる研究者や技術者等多くの方々に農研機構の研究成果を認知していただき、情報交換・交流の場を提供するため、「農研機構食品研究成果展示会 2019」を開催いたします。

2. 日時、場所

2019年11月1日（金）9:30～16:00
つくば国際会議場（つくば市竹園 2-20-3）

3. 内容

●研究成果展示会（9:30～16:00 多目的ホール）
農研機構の食品研究の最新の成果について、72枚のポスターを展示します。
実際に研究している研究員が直接説明します。

●第37回公開講演会（11:00～12:00 大会議室102）
農研機構食品研究一押しの成果について講演します（3題各20分）。

【演題、演者】

1. ヒト胃消化シミュレーターを利用したゲル状食品モデルの消化挙動の直接観察
食品研究部門 食品健康機能研究領域 食品物理機能ユニット 上級研究員 小林 功
2. スパゲティの品質表現用語体系の構築
食品研究部門 食品加工流通研究領域 食品品質評価制御ユニット ユニット長 早川文代
3. 多様な遺伝子組換え作物に対応可能な食品検査法の開発
食品研究部門 食品分析研究領域 信頼性評価ユニット ユニット長 橘田和美

4. 主な来場者

国の機関関係者、食品産業関係者、独立行政法人・国立研究開発法人関係者、地方公共団体等試験研究機関関係者、大学の学生など

5. 参加費・参加登録

無料、事前登録は不要

6. その他

- (1) 受付において、展示したポスターやその他の研究成果を掲載した「研究成果集」を資料として配布します。
- (2) 会場内では、地方公共団体等の食品関係試験研究機関の研究成果ポスター29枚も展示します。
- (3) 会場内では、フード・フォーラム・つくばの企業交流展示会 2019 が同時開催（ポスター等展示）されます。

6. 問合せ先

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 食品研究部門 企画管理部企画連携室
広報プランナー 清水 恒
E-mail: kohop-nfri@ml.affrc.go.jp、TEL:029-838-8050、FAX:029-838-8005